

秋田県指定天然記念物

- ・名 称 ユキツバキ 自生北限地帯
- ・所 在 地 仙北市田沢湖岡崎外3字院内山外4国有林
- ・指定年月日 昭和38年2月5日

分 類	ツバキ科ツバキ属
学 名	<i>Camellia rusticana</i> Honda
原 産	日 本 (秋田県～滋賀県北部の日本海側・豪雪地帯山地)
タ イ プ	常緑低木



由緒、沿革及び経緯等

ユキツバキは冷温帯の植物で、秋田県でも奥羽山脈の西側を中心として県南部から美郷町付近まで切れ目なく分布し、当市田沢湖岡崎院内国有林の群生地帯がほぼ北限となっている。ここ院内の群生地帯は椿台林道の山腹斜面に森林の下層木として繁っており、深い雪にも耐えられるように枝を低く垂れている。

毎年5月初旬が花の見頃であるが、今年は4月中旬には見頃が過ぎてしまっている。

秋田県指定天然記念物

- ・名 称 玉川のヒメカイウ 群生地
- ・所 在 地 仙北市田沢湖玉川字湯沢国有林
- ・指定年月日 平成3年3月19日

分 類	サトイモ科ヒメカイウ属
学 名	<i>Calla palustris</i>
別 名	ミズザゼン



由緒、沿革及び経緯等

サトイモ科の多年草で、わが国では本州、中部地方と北部、北海道に分布している。玉川の群生地は昭和63年7月17日に佐藤隆氏(田沢湖卒田)によって発見されたもので、国内でも6ヶ所目という貴重な発見となっている。

一見ミズバショウに似ているが、全体的にミズバショウより小ぶりで、葉の形は全く異なっている。花茎は20～30cmで白い仏炎苞(ぶつえんぼう)の花が6～7月に開花する。

水中にある地下茎から細根と葉を出し、花と葉は水面上に繁っている。沼地や湿原といった常時水のある限定された環境にのみの生育で、生育環境の変化には極めて敏感で、抵抗力が弱いことから十分な注意が必要である。

いずれも分布が限られた地域という貴重な植物です。
東北森林管理局では「湯沢ヒメカイウ植物群落保護林」として保護指定地としています。
環境には十分配慮願います。